15日のサウジアラビア戦、後半、長口（左）のゴールに喜ぶ

混戦B組 日本は2位

サッカー W杯アジア最終予選 前半終了

4チーム 勝ち点差1

15日に各地であり、各チームとも前半戦の5試合を終えた。日本のいるB組は混戦模様で、上位4チームが勝ち点差1の中にひしめいている。

勝ち点10で首位のサウジアラビアが日本に敗れたため、勝ち点8の2位からトップに立つチャンスのあったオーストラリア。しかし、最終予選4連敗中のタイと2―2で引き分けた。

この結果、勝ち点を10に伸ばした日本に抜かれ、自動的にW杯の出場権を得られる2位から、プレーオフ圏内の3位に後退。「とても失望している」。2得点を挙げたDFジェディナクの落胆ぶりを、海外メディアは伝えている。アラブ首長国連邦（UAE）は本拠でイラクを2―0で下し、勝ち点9でオーストラリアに並んだ。

最終予選は来年3月に再開。日本はUAEと敵地でぶつかる。今年9月の試合では1―2で逆転負けを喫した相手だ。

	タイ	イラク	UAE	オーストラリア	日本	サウジアラビア		中国	カタール	シリア	ウズベキスタン	韓国	イラン
5	5	5	5	5	**5**	5	試合	5	5	5	5	5	5
1	-9	-2	3	9	**10**	10	勝点	2	4	5	9	10	11
		1	9	3	**3**	4	差	-4	-3	-1	2	2	4

アジアA組3位 ― アジアB組3位 ― アジアプレーオフ

VS. ― 1枠 ― 大陸間プレーオフで1枠を争う

北中米カリブ海4位

	米国	トリニダード・トバゴ	ホンジュラス	パナマ	メキシコ	コスタリカ
試合	2	2	2	2	2	2
勝点	0	0	3	4	4	6
差	-5	-4	1	1	4	6

アジア最終予選と北中米カリブ海最終予選
16日現在

日本代表の海外組15人は16日、所属クラブへ向けて出国した。15日のサウジ戦では、所属先で定位置をつかんだ大迫（ケルン）や原口（ヘルタ）が活躍。一方で出場機会の少ない岡崎（レスター）、本田（ACミラン）、香川（ドルトムント）が先発から外れた。長友（インテル・ミラノ）は「これが本当の競争」。吉田（サウサンプトン）も「3月までに、おのおのがクラブで試合に出られるようにすることが一番大事」と気を引き締めていた。

▼15日
▽B組
タイ①2―2オーストラリア⑩
アラブ首長国連邦⑩2―0イラク⑩
▽A組
中国⑫0―0カタール④、シリア⑤0―0イラン⑪
【北中米カリブ海最終予選】
ホンジュラス⑧3―1トリニダード・トバゴ⑩、パナマ④0―0メキシコ④、コスタリカ⑪4―0米国⑩
【南米予選】
ボリビア⑦1―0パラグアイ⑯、エクアドル⑱3―0ペネズエラ⑮、チリ⑱3―1ウルグアイ⑱、アルゼンチン⑱3―0コロンビア⑱、ブラジル⑳2―0ペルー⑲
（丸数字は勝ち点）